

歯科総合診療部

【著書】

- 1) 小林哲夫：第4章 身につけたい看護技術，4. 口腔ケア 『納得！ 実践シリーズ リウマチ看護パーフェクトマニュアル』（村澤 章・元木絵美編著），202-208頁，羊土社，東京，2013年6月。
- 2) 小林哲夫，吉江弘正：第3章 検査，診断と治療 2 歯周病の検査<アドバンス編> 歯周病の活動性。ザ・ペリオドントロジー第2版（和泉雄一・木下淳博・沼部幸博・山本松男 編集），84頁，医歯薬出版株式会社，東京，2014年3月。
- 3) 小林哲夫：第9章 ペリオドンタルメディシン 8 歯周病と関節リウマチ。ザ・ペリオドントロジー第2版（和泉雄一・木下淳博・沼部幸博・山本松男 編集），258-259頁，医歯薬出版株式会社，東京，2014年3月。

【論文】

- 1) Okada M, Kobayashi T, Ito S, Yokoyama T, Abe A, Murasawa A, Yoshie H: Periodontal Treatment Decreases Levels of Antibodies to *Porphyromonas gingivalis* and Citrulline in Patients with Rheumatoid Arthritis and Periodontitis. J Periodontol 84(12):e74-e84, 2013.
- 2) Domon H, Tabeta K, Nakajima T, Yamazaki K: Age-related alterations in gene expression of gingival fibroblasts stimulated with *Porphyromonas gingivalis*. J Periodontal Res. Oct 18. doi: 10.1111/jre.12134, 2013.
- 3) Kobayashi T, Okada M, Ito S, Kobayashi D, Ishida K, Kojima A, Narita I, Murasawa A, Yoshie H: Assessment of Interleukin-6 Receptor Inhibition Therapy on Periodontal Condition in Patients with Rheumatoid Arthritis and Chronic Periodontitis. J Periodontol 85(1):57-67, 2014.
- 4) Yokoyama T, Kobayashi T, Ito S, Yamagata A, Ishida K, Okada M, Oofusa K, Murasawa A, Yoshie H: Comparative Analysis of Serum Proteins in Relation to Rheumatoid Arthritis and Chronic Periodontitis. J Periodontol 85(1):103-112, 2014.
- 5) Kobayashi T, Okada M, Ito S, Kobayashi D, Shinohara A, Muramatsu T, Kobayashi T, Narita I, Nakazono K, Murasawa A, Yoshie H: Amino acid profiles in relation to chronic periodontitis and rheumatoid arthritis. Open Journal of Stomatology 4(2): 49-55, 2014.
- 6) Okui T, Aoki-Nonaka Y, Nakajima T, Yamazaki K:

The role of distinct T cell subsets in periodontitis - Studies from humans and rodent models. Curr Oral Health Rep. 2014: in press.

- 7) Domon H, Tabeta K, Nakajima T, Yamazaki K: Age-related alterations in gene expression of gingival fibroblasts stimulated with *Porphyromonas gingivalis*. J Periodontal Res. 2014: in press.
- 8) Aoki-Nonaka Y, Nakajima T, Miyauchi S, Miyazawa H, Yamada H, Domon H, Tabeta K, Yamazaki K: Natural killer T cells mediate alveolar bone resorption and a systemic inflammatory response in response to oral infection of mice with *Porphyromonas gingivalis*. J Periodontal Res. 49(1): 69-76, 2014.
- 9) 藤井規孝，田口則宏，長谷川篤司，木尾哲朗，多田充裕，小川哲次，樋口勝規，伊藤孝訓：大学における総合歯科の現状と展望。日本歯科医学教育学会雑誌 29 巻 2 号：95-105，2013。
- 10) 藤井規孝：歯学臨床教育の現状と課題。新潟歯学会雑誌 43 巻 2 号：89-103 頁，2013。
- 11) 中島貴子，山崎和久：広汎型侵襲性歯周炎患者の SPT 期に経口抗菌療法を併用した一症例。日歯周誌 55(2):183-188 頁；2013。（症例報告レビュー）
- 12) 渡部 平馬，風間 龍之輔，浅井 哲也，石崎 裕子，福島 正義，興地 隆史：各種デュアルキュア型レジメンセメントの長石系マシーナブルセラミック介在下における硬化度の検討。日保存誌 56 : 223-230 頁，2013。

【商業誌】

- 1) 山崎和久・中川種昭・中島貴子：座談会「歯周病治療におけるシタフロキサシンの位置づけ」。歯界展望 第123巻 2014年2月号：386-390頁，2014。

【研究費獲得】

- 1) 藤井規孝，奥村暢旦：歯科臨床における技術教育の科学化。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)，24501178，2012。
- 2) 石崎裕子，福島正義，児玉臨麟：Tooth Wear (咬耗) の診断基準策定のための生理的磨耗と象牙質露出調査。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)，23592794，2013。
- 3) 小林哲夫 (研究代表者)：ゲノムメチル化プロファイルによる歯周炎とリウマチの共通発症機序の解明。日本学術振興会科学研究費補助金研究，基盤研究(C)，22592309，2014。

【講演・シンポジウム】

- 1) Nakajima T: JADR Mini-Symposium: Regulatory cell Subsets in the Pathogenesis of Periodontitis. 2nd Meeting of the International Association for Dental Research Asia Pacific Region (IADR-APR) Bangkok, Thailand, 2013.8.21.

【学会発表】

- 1) Ishizaki H, Fukushima M: Seven-year Clinical Evaluation of Restorations Repaired by Composite Resin. 5th International Congress on Adhesive Dentistry, Philadelphia, June 14-15, 2013.
- 2) Watanabe H, Kazama R, Asai T, Ishizaki H, Fukushima M, Okiji T: Efficacy of High-intensity LED Curing-units on Polymerization of Resin Cement. 5th International Congress on Adhesive Dentistry, Philadelphia, June 14-15, 2013.
- 3) Minagawa T, Okui T, Nakajima T, Tabeta K, and Yamazaki K: Antiinflammatory effects of resveratrol in human gingival epithelial cells. 3rd Meeting of the IADR Pan Asian Pacific Federation, Bangkok, Thailand, August 21, 2013.
- 4) Kobayashi T, Okada M, Ito S, Kobayashi D, Ishida K, Kojima A, Narita I, Murasawa A, Yoshie H: Effect of Interleukin-6 Receptor Inhibition Therapy on Periodontal Condition in Patients with Rheumatoid Arthritis and Periodontitis. The 10th. Asian Pacific Society of Periodontology Meeting, Nara, September 3-4, 2013.
- 5) Ishida K, Kobayashi T, Yokoyama T, Okada M, Kojima A, Yoshie H: Interleukin-6 Gene Promoter Methylation in Periodontal Tissues. The 10th. Asian Pacific Society of Periodontology Meeting, Nara, September 3-4, 2013.
- 6) Okada M, Kobayashi T, Ito S, Yokoyama T, Abe A, Murasawa A, Yoshie H: Effects of Periodontal Treatment on Antibodies to *Porphyromonas gingivalis* and Citrulline levels and Rheumatoid Arthritis Condition The 10th. Asian Pacific Society of Periodontology Meeting, Nara, September 3-4, 2013.
- 7) Kojima A, Kobayashi T, Ishida K, Okada M, Yoshie H: Tumor Necrosis Factor-Alpha Gene Promoter Methylation in Chronic Periodontitis. The 10th. Asian Pacific Society of Periodontology Meeting, Nara, September 3-4, 2013.
- 8) Miyazawa H, Honda T, Miyauchi S, Okui T, Nakajima T, Tabeta K, Yamazaki K: Effect of periodontal

infection on serum PCSK9 and lipid profiles. 3rd International symposium on health through oral health collaborative education, research and practices, Thailand, December 20-22, 2013.

- 9) 小林哲夫, 伊藤 聡, 小林大介, 成田一衛, 村澤 章, 吉江弘正: トシリズマブ (TCZ) 療法中の関節リウマチ患者の歯周状態. 第 57 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 京都, 2013 年 4 月 19 日, 第 57 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集: 361 頁, 2013.
- 10) 宮澤春菜, 本田朋之, 宮内小百合, 土門哲久, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: 歯周炎罹患が PCSK9 および脂質プロファイルに及ぼす影響. 第 46 回新潟歯学会総会, 新潟, 2013 年 4 月 20 日, 新潟歯学会雑誌 43(1): 74 頁, 2013.
- 11) 渡部平馬, 浅井哲也, 風間龍之輔, 石崎裕子, 渡邊孝一, 福島正義, 興地隆史: 高出力 LED 照射器がデュアルキュア型レジンセメントの硬化度に与える影響. 第 46 回新潟歯学会総会, 新潟, 2013 年 4 月 20 日, 新潟歯学会雑誌 43(1): 75 頁, 2013.
- 12) 小林哲夫, 岡田 萌, 石田光平, 小島杏里, 吉江弘正: IL-6 受容体抑制治療中の関節リウマチ患者の歯周状態. 第 56 回春季日本歯周病学会学術大会, 東京, 2013 年 5 月 31 日, 日本歯周病学会会誌 第 55 巻春季特別号: 93 頁, 2013.
- 13) 宮内小百合, 本田朋之, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: ヒト歯肉上皮細胞における interleukin(IL) -17 と IL-17 受容体の発現プロファイル. 第 56 回春季日本歯周病学会学術大会, 東京, 2013 年 5 月 31 日, 日歯周誌 55 巻 春季特別号: 16 頁, 2013.
- 14) 山崎和久, 有松圭, 土門久哲, 山田ひとみ, 宮内小百合, 宮澤春菜, 皆川高嘉, 中島麻由佳, 中島貴子, 多部田康一: *Porphyromonas gingivalis* 口腔感染はマウス腸内細菌叢を変動させインスリン抵抗性を誘導する. 第 56 回春季日本歯周病学会学術大会, 東京, 2013 年 6 月 1 日, 日歯周誌 55 巻 春季特別号: 42 頁, 2013.
- 15) 有松圭, 土門久哲, 山田ひとみ, 宮内小百合, 宮澤春菜, 皆川高嘉, 中島麻由佳, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 口腔感染マウスモデルで誘導させるインスリン抵抗性は脂肪組織及び肝臓における炎症反応と関連する. 第 56 回春季日本歯周病学会学術大会, 東京, 2013 年 6 月 1 日, 日歯周誌 55 巻 春季特別号: 42 頁, 2013.
- 16) 山田ひとみ, 中島貴子, 宮澤春菜, 奥井隆文, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感

- 染は NKT 細胞のサイトカイン産生を誘導する. 第 138 回日本歯科保存学会 2013 年度春季学術大会, 福岡, 2013 年 6 月 27 日, 日本歯科保存学雑誌 春季学術大会プログラム: 26 頁, 2013.
- 17) 土門久哲, 山田ひとみ, 宮内小百合, 宮澤春菜, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 口腔感染マウスモデルにおいて小胞体ストレスは破骨細胞形成に関与し歯槽骨吸収を誘導する. 第 138 回日本歯科保存学会 2013 年度春季学術大会, 福岡, 2013 年 6 月 27 日, 日本歯科保存学雑誌 春季学術大会プログラム: 27 頁, 2013.
 - 18) 小林哲夫, 岡田 萌, 石田光平, 小島杏里, 吉江弘正: 関節リウマチ患者におけるトシリズマブ治療の歯周状態への影響. 日本歯科保存学会 2013 年度春季学術大会 (第 138 回), 福岡, 2013 年 6 月 28 日, 日本歯科保存学雑誌 春季学術大会プログラム: 235 頁, 2013 年.
 - 19) 皆川高嘉, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 村上伸也, 山崎和久: Resveratrol がヒト歯肉上皮細胞の炎症性応答に及ぼす影響. 第 138 回日本歯科保存学会 2013 年度春季学術大会, 福岡, 2013 年 6 月 28 日, 日本歯科保存学雑誌 春季学術大会プログラム: 66 頁, 2013.
 - 20) 大竹正紀, 黒瀬雅之, 長谷川真奈, 齋藤 功, 山村健介: 嚥下誘発における中咽頭への苦味刺激の効果とうま味刺激との相互作用. 平成 25 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2013 年 7 月 6 日, 新潟歯学会雑誌 43 巻 2 号: 146 頁, 2013.
 - 21) 石崎裕子, 中島貴子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 藤井規孝, 高木律男, 興地隆史: 本院歯科総合診療部における研修歯科医のインシデントの分析と推移. 第 32 回日本歯科医学教育学会学術大会, 札幌, 2013 年 7 月 12 日, 第 32 回日本歯科医学教育学会学術大会プログラム集: 80 頁, 2013.
 - 22) 藤井規孝, 中島貴子, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 興地隆史, 小野和宏, 前田健康: 新潟大学歯学総合病院歯科医師臨床研修単独型プログラムにおけるポートフォリオ評価. 第 32 回日本歯科医学教育学会学術大会, 札幌, 2013 年 7 月 13 日, 第 32 回日本歯科医学教育学会学術大会プログラム集: 93 頁, 2013.
 - 23) 渡部平馬, 風間龍之輔, 浅井哲也, 金谷史夫, 石崎裕子, 福島正義, 興地隆史: 各種 CAD/CAM 用マシナブルブロックの厚さが光透過性に与える影響. 第 24 回日本歯科審美学会学術大会, 東京, 2013 年 7 月 20-21 日, 第 24 回日本歯科審美学会学術大会プログラム・抄録集: 48 頁, 2013.
 - 24) 八田あずさ, 黒瀬雅之, 藤井規孝, 山村健介: 乾燥による上皮細胞の乾燥は, さらなる乾燥を誘発する. 第 55 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 岡山, 2013 年 9 月 20 日, Journal of Oral Biosciences Supplement 2013 巻: 179 頁, 2013.
 - 25) 小島杏里, 小林哲夫, 石田光平, 岡田 萌, 吉江弘正: 慢性歯周炎患者における TNF- α 遺伝子プロモーター領域のメチル化解析. 第 56 回秋季日本歯周病学会学術大会, 前橋, 2013 年 9 月 22 日, 日本歯周病学会誌 第 55 巻秋季特別号: 106 頁, 2013.
 - 26) 横山智子, 小林哲夫, 岡田 萌, 吉江弘正: 関節リウマチ患者における歯周状態の TNF 標的療法反応性に及ぼす影響. 第 56 回秋季日本歯周病学会学術大会, 前橋, 2013 年 9 月 22 日, 日本歯周病学会誌 第 55 巻秋季特別号: 117 頁, 2013.
 - 27) 奥井隆文, 皆川高嘉, 多部田康一, 中島貴子, 村上伸也, 山崎和久: Resveratrol は歯肉上皮細胞の炎症性応答を抑制する. 第 56 回秋季日本歯周病学会学術大会, 前橋, 2013 年 9 月 22 日, 日歯周誌 55 巻 秋季特別号 109 頁, 2013.
 - 28) 中島貴子, 伊藤晴江, 奥井隆文, 中島麻由佳, 宮下博考, 多部田康一, 山崎和久: 歯周病安定期治療中の活動性歯周ポケットに対する経口抗菌療法の細菌学的効果 (第 2 報). 第 56 回秋季日本歯周病学会学術大会, 前橋, 2013 年 9 月 22 日, 日歯周誌 55 巻 秋季特別号: 120 頁, 2013.
 - 29) 中島貴子, 奥井隆文, 伊藤晴江, 中島麻由佳, 多部田康一, 山崎和久: 歯周ポケットから臨床分離株に対する抗菌薬の有効性, 耐性の検討. 第 139 回日本歯科保存学会 2013 年度秋季学術大会, 秋田, 2013 年 10 月 17 日, 日本歯科保存学雑誌 秋季学術大会プログラム: 51 頁, 2013.
 - 30) 石田光平, 小林哲夫, 横山智子, 岡田 萌, 小島杏里, 小松康高, 吉江弘正: 歯周炎罹患組織における IL-6 遺伝子プロモーター領域のメチル化解析. 第 139 回日本歯科保存学会 2013 年度秋季学術大会, 秋田, 2013 年 10 月 18 日, 日本歯科保存学雑誌 秋季学術大会プログラム: 224 頁, 2013.
 - 31) 山田ひとみ, 土門久哲, 宮内小百合, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 口腔感染マウスモデルにおいて小胞体ストレスは破骨細胞形成に関与し歯槽骨吸収を誘導する. 平成 25 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2013 年 11 月 9 日. 新潟歯学会雑誌 43(2): 154 頁, 2013.
 - 32) 國分博子, 奥村暢旦, 中島貴子, 石崎裕子, 伊藤晴江, 藤井規孝: 適切なインフォームドコンセントによってモチベーションが向上した患者の経験. 第 1 回日本総合歯科学会学術大会, 東京, 2013 年 11 月 16 日, 第 1 回日本総合歯科学会学術大会プログラム

- 集：51 頁，2013.
- 33) 久保清香，藤井規孝，中島貴子，石崎裕子，伊藤晴江，奥村暢旦：多数歯欠損症例における義歯の安定と残存歯の動揺に関する考察. 第1回日本総合歯科学会学術大会，東京，2013年11月16日，第1回日本総合歯科学会学術大会プログラム集：55 頁，2013.
 - 34) 佐藤圭祐，中島貴子，石崎裕子，伊藤晴江，奥村暢旦，藤井規孝：鉤歯として不利な残存歯を保存した義歯製作. 第1回日本総合歯科学会学術大会，東京，2013年11月16日，第1回日本総合歯科学会学術大会プログラム集：57 頁，2013.
 - 35) 櫻井知己，石崎裕子，中島貴子，伊藤晴江，奥村暢旦，藤井規孝：治療用義歯を用いて顎位の修正を試みた一症例. 第1回日本総合歯科学会学術大会，東京，2013年11月16日，第1回日本総合歯科学会学術大会プログラム集：66 頁，2013.
 - 36) 渡部平馬，風間龍之輔，浅井哲也，石崎裕子，福島正義，興地隆史：CAD/CAM 用修復材料の組成と厚さがデュアルキュア型レジンセメントの硬化度に与える影響. 第32回日本接着歯学会学術大会，福岡，2013年11月30日-12月1日，接着歯学 31 巻 3 号：141 頁，2013.
 - 37) Kurose M, Hatta A, Wiersma J, Oda M, Yamamura K, Meng ID: The effect of Menthol, Capsaicin and AITC on the thermal response of corneal primary afferent neurons. 第91回日本生理学会大会，鹿児島，2014年3月16日，同学術集会プログラム・予稿集：172 頁，2014.
- 3) 小林哲夫：歯周病と RA の関連性. リウマチ Q&A カンファレンス，和歌山，2013年11月21日.
 - 4) 小林哲夫：リウマチと歯周病. 第21回新潟リウマチの会 教育講演. 新潟大学医学部有壬記念館，新潟市，2014年1月11日.
 - 5) 石崎裕子：コンポジットレジン修復のポイント～歯を知り，材料を知り，MI を実践する～. 平成25年度新潟大学歯学部同窓会セミナー，新潟市，2014年，2月9日.

【研究会発表】

- 1) 長谷川真奈，山田好秋，黒瀬雅之，大竹正紀，藤井規孝，山村健介：大気圧センサを用いた咽頭内部気圧の経時的測定. 第7回 三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会，新潟，2013年11月30日，同研究会プログラム・予稿集：10 頁，2013.
- 2) 大竹正紀，黒瀬雅之，長谷川真奈，山田好秋，山村健介：苦味刺激が嚥下反射誘発におよぼす効果とうま味刺激の相互作用. 第7回 三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会，新潟，2013年11月30日，同研究会プログラム・予稿集：10 頁，2013.

【その他】

- 1) 小林哲夫：歯周病と関節リウマチ. 平成25年度 OMMC Talk with the expert seminar，大阪，大阪南医療センター，2013年8月22日.
- 2) 奥村暢旦：歯を知り，材料を知り，明日から活かす Provisional Restoration. 平成25年度新潟大学歯学部同窓会セミナー，新潟市，2013年，10月20日.